

2/22 佐渡

## 生活保護削減 子への影響は

(上)

元堺市ケースワーカー・桜井啓太さんに聞く  
名古屋市立大学講師 桜井啓太さん



含まれていなうという  
いじです。

保護世帯で4年制大学  
・短大・専修学校に進

す。  
しかも奨学金だけで  
足りず、8割以上の

保護費が平均4万円減  
る一なうがあると桜井  
さんは指摘します。

そのうえ、日本の学  
費は先進国でも非常に  
高く、奨学金を借りて  
も卒業後に苦しい返済  
が残ります。

桜井さんら堺市のC  
Wは保護世帯の学生の  
実態をつかむうと、大  
阪市立大学の協力を得  
て16年10月から市内の

74・1%が400万円  
以上の借金を背負い社  
会に出ることになりま

す。「借金のせいで自  
立なんてできない」と  
の悲鳴が上がっていま

接業料減免制度を受  
けた学生は約23%だけ  
でした。桜井さんは、  
私立大学や専修学校で

は同制度が少ないと指  
摘します。それでも、  
「手に職をつけてなる  
べく早く自立しようと、  
専修学校に進学する  
子が多い」といいま  
す。進学理由に「将来  
の仕事に役立つ勉強が  
したい」と答えた学生  
が約96・2%もいたこと  
からも、そのことが  
うかがえます。

今回の見直しは、保  
護世帯の進学する学生  
に対する世帯分離を残  
したままにする一方  
で、一時金を給付する  
と決定しています。桜  
井さんは、「この支援策  
は、根本的な問題解決  
にならない、うわべだけ  
の方法です」と批判

「貧困の連鎖を解消  
するためには、保護世  
帯の子どもが大学等に  
進学できるように経済  
的な支援が必要です」  
と桜井さんは強調しま  
す。

しかし政府は、高校  
卒業したら働くこと  
ます。「最低限度の生

活」に大学等の進学は

# 安心して学校で学べない



生活保護基準引き下げに反対  
する運動が広がっています

苦しい返済  
対象に調査しました。

堺市の保護世帯で奨  
学金を借りていると答  
えた学生は、割近い84

人。4年制大学生の約  
50%にも及びました。

子どもが進学した保  
護世帯は、子どもの世  
帯分離によって保護費  
が減らされ、「最低生  
活」未満の暮らしを強  
いる状況です。これがそ  
れで、子どもたたきは進  
学を諦めさせている要因です。

進学諦める

が前提で、保護費を利用  
しながら大学等に進学  
するとは原則認めて  
いません。進学する  
と、学生分は保護費を  
支給しない「世帯分  
離」という処理をされ  
ます。最低限度の生

活」に大学等の進学は

安心して学校で学べない

必要がありますが生じる、生活  
保護費が平均4万円減  
る一なうがあると桜井  
さんは指摘します。

(つづく)